

滝子山・三ツ峠山

2009.11.15～16 単独行

11/15 (日) 晴れ 自宅 4:40～勝沼IC経由～(164KM) 7:40 湯ノ沢峠 P
7:55～8:20 大蔵高丸(1781M)～8:42 ハマイバ丸(1752M) 8:45～9:08
天下石～9:20 米背負峠 9:25～9:40 大谷ヶ丸(1644M) 9:45～10:20 分
岐 10:25～10:37 滝子山(1615M、甲信越百名山) 11:20～12:15 大谷分
岐～12:30 米背負峠 12:35～13:20 ハマイバ丸 13:30～13:52 大蔵高
丸 14:00～14:20 湯ノ沢峠P 14:35～やまと天目山温泉で入浴～16:30 道
の駅甲斐大和で車中泊

首都圏から近くJR笹子駅や初狩駅から日帰り登山する人気の山のようにだ。三ツ峠と富士山の展望がすこぶる良いようだ。何処から登るか悩んだが、少し縦走気味にと思い、かつ下山後の温泉の事も考えて、湯ノ沢峠を登山口にする。すでに沢山の車が駐車している。今朝は冷え込んで寒い。歩き始めて分かったが登山者ではなく、カメラマン達で賑わっているのだ。富士山のご来光でも撮っていたのか？従って縦走路ではほとんど人に会わなかった。この登山道を選んで正解だった。兎に角「富士山」に向かって登山道が延びている。高低差の少ない気持ちの良いコースだ。

大蔵高丸



富士山を見ながらの登山道です



途中珍しい山野草があるようで、盗掘防止の立札やロープが張ってある。笹子駅からの登山道と合流すると登山者が多くなった。山頂は沢山の人で賑わっている。なるほど素晴らしい展望だ。目の前に明日登る三つ峠山、その後ろに富士山。

破魔射場丸



米背負峠



富士山と三つ峠山



山頂から三つ峠山と富士山



人で少し騒がしい山頂だが昼食にする。平日ならユックリ展望を楽しみながらになると思うが、今日は座る場所の確保が精いっぱい。帰路もほとんど人に会わずに下山。駐車場の手前に避難小屋がある。大菩薩嶺方面から縦走時に利用されるのであろう。景色に堪能して疲れも無い。天目山温泉はハイカーで賑わっている。サッパリして明日の事もえて道の駅で寝酒を飲んで早めに休む。

11/16 (月) 晴れのち曇り 5:00~7:00 三ツ峠登山口 (1230M) 7:10~8:15
三ツ峠山荘~8:25 三ツ峠山 (1785M、日本二百名山、甲信越百名山) 8:45~御
巢鷹山・茶臼山・木幡山・大幡八丁峠 10:40~清八林道経由 11:16 登山口P
(昼食) 11:50~一宮御坂IC経由~14:05 自宅 (総走行距離 373KM)

途中のコンビニで弁当を食べて新御坂トンネルを抜けて天下茶屋まで行ってみる。
途中道路端に溜まった落ち葉を集めている軽トラが何台もいる。腐葉土として売
るのか。三ツ峠登山口にはすでに何台も駐車してある。林道のような広い道を登る。

河口湖と富士山



三ツ峠登山口



登山らしくはない。山頂近くは恐らく「アツモリソウ」のかっては宝庫だったのだ
ろう、鉄条網などが張られて「立ち入り禁止」になっている。時期がら花はほとん
ど見られない。山頂には誰もいない。登山道でも誰にも会わなかった。駐車場の車
は？不思議だ。山頂からの富士山は予想よりは感激しなかった。

三ツ峠山頂から左は富士山



昨日登った滝子山方面と下は山荘



天気の子か？昨日登った滝子山も見える。歩き足りないので、帰路は清八林道經由にする。結局誰にも会わなかった。駐車場でラーメン食べて帰宅する。これで甲信越百名山の残りは新潟県の7座のみとなった。来年夏までには完登達成しよう。難しい山は特にないが、エブリサシ岳は長丁場で避難小屋泊になる。水の確保が必要。信州百名山も残すは「堂津岳」のみ。登山道が無く、残雪期で道路が開通する、ゴールデンウィークのみと言う条件付きの山だが。

編集後記 2年以上も前の山行記が延び延びになってしまった。記憶も薄れて、文章も的確ではないと思う。又反省です。